

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【公表番号】特表2007-500545(P2007-500545A)

【公表日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2007-002

【出願番号】特願2006-521984(P2006-521984)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも一部が二相材料を含む栓子と、

前記栓子を前記内腔の選択された位置に移動するため前記栓子に着脱可能に結合された送出器具と、

を備える内腔閉塞装置。

【請求項2】

前記栓子が先細部分及び拡張可能部分を含む請求項1に記載の内腔閉塞装置。

【請求項3】

前記拡張可能部分が二相材料を含む請求項2に記載の内腔閉塞装置。

【請求項4】

前記拡張可能部分が、前記内腔の内壁と接触する複数の構造部を含む請求項2に記載の内腔閉塞装置。

【請求項5】

前記複数の構造部が二相材料を含む請求項4に記載の内腔閉塞装置。

【請求項6】

前記栓子の少なくとも一部が生体吸収可能な材料を含む請求項1に記載の内腔閉塞装置

。

【請求項7】

前記二相材料が生体吸収可能である請求項1に記載の内腔閉塞装置。

【請求項8】

前記二相材料が形状記憶材料である請求項1に記載の内腔閉塞装置。

【請求項9】

複数の開口部を定める栓子と、

前記栓子を内腔の選択された位置に移動させるために前記栓子に着脱可能に結合された送出器具と、

前記開口部を通じて移動される生体結合剤と、

を含む内腔閉塞装置。

【請求項10】

前記結合剤が二相材料を含む請求項9に記載の内腔閉塞装置。

【請求項 1 1】

前記結合剤が生体吸収可能な材料を含む請求項 9 に記載の内腔閉塞装置。

【請求項 1 2】

前記二相材料が生体吸収可能である請求項 1 0 に記載の内腔閉塞装置。

【請求項 1 3】

前記結合剤が形状記憶材料である請求項 9 に記載の内腔閉塞装置。